※令和４年度以降入学生用

学校番号	3037

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」　（大修館書店）						
副教材等	「現代評論１２」（桐原書店）等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では国語力の基礎を作ります。この１年間は非常に重要だと心得てください。
・現代国語で身につけたい力は、まず、他者が話したり書いたりする意見を正確に聴く・読む力です。幅広い知識を身に付け、他者の意見を理解し自己の見識を高めることが、自分自身の意見を述べたり書いたりする能力につながっていきます。
・グローバル・リーダーをめざす人として、日本の文化とその背景を理解し、現代世界における問題を把握する見識を身につけてほしいと思います。
・読解力や思考力の向上は、予習復習が基礎となります。授業の予習では言葉の意味調べはもちろん、本文を前もって読み、理解できなかったところを真剣に思考しておいて下さい。
・提出物などの期限は必ず守ってください。高校生として自己管理をきちんと行うことが肝要です。

２　学習の到達目標

（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
（２）論理的な思考力、豊かな想像力を伸ばし、文章を読んで考えたことを的確にまとめ、他者に伝える力を高める。また、他者の考えを受けて自分の視野を広げたり深めたりできるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深め、国語を尊重しその魅力を発信できるようになる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に対して他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	言葉やコミュニケーションの基礎について学び、学びに向かう姿勢をつくる。 ［教材］ 「考える技術―考えさせない時代に抗して」	a:言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]:内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 c:「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	対比関係を用いて論ずる叙述の方法を把握する。 ［教材］ 「水の東西」	a：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 b[読]：日本と西洋の見方という対比構造を把握し、内容を読み取っている。 c：日本文化に対する関心を持とうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ［教材］ 「羅生門」（プリント）	a：語句の意味や比喩などの修辞を理解している。 b[書]：小説の末尾から受ける印象について、自分の考えをわかりやすく記述している。 c：下人の心情や行動を理解し場面の推移を捉え、下人の生き方について自己の意見を持っている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート
	論理を正確にとらえ、筆者の主張の組み立てを理解する。 ［教材］ 「動的平衡としての生物多様性」	a：主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 b[読]：本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 c：情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
2	同じテーマについて述べられた二つの文章を読み比べ、それぞれの主張を的確につかむ。 ［教材］ 「空気を読む」 「『個人』から『分人』へ」	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]：目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈している。 c：複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	主張に対する根拠を明確にとらえ、身近な「言葉」について新しい認識を持つ。 ［教材］ 「言葉についての新しい認識」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈している。 c：情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	叙述を的確にとらえ、芸術の分野における「美」について理解する。 ［教材］ 「美しさの発見について」	a：文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]：筆者の言う芸術における「美」について理解している。 c：自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解する。 ［教材］ 「贅沢を取り戻す」	a：情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。 b[読]：「贅沢」の具体例を通して筆者が提起する課題を理解している。 c：現代社会の課題を把握し、根拠の示し方を考えて説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	目的に即して、文章から必要な情報を読み取る。 ［教材］ 「白」	a：主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。 b[読]:様々な「白」についての具体例を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈する。 c：積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
3	具体例から筆者の主張を読み取り、現代の技術における問題点について理解する。 ［教材］ 「作業ロボットの悲劇」	a：人口知能と人間の関係について理解している。 b[読]：現代の技術発展における問題点について理解している。 c：積極的に持続可能な社会について理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	「私」の富士に対する思いの変化などをもとに作品の主題について考える。 ［教材］ 「富岳百景」（プリント）	a：比喩などの修辞の効果について理解を深めている。 b[書]：作品のタイトルの意味を、「私」の富士山に対する思いの変化と関連させてまとめている。 c：登場人物の心情の変化について読み取り、意見をまとめて話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	相手にわかりやすく伝わるよう、話し方を工夫する。 ［教材］ 「設計図を最初に渡せ！」	a：相手に伝わりやすい表現や言葉遣いを理解している。 b[話]：自分の意見が相手に伝わるように話の展開を構成している。 c：積極的に伝わりやすい表現を考え、説明や発表をしようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表	発表

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間